

令和5年稲沢市教育委員会 第8回定例会会議録

1 日 時 令和5年8月10日(木) 午後1時30分～午後2時20分

2 場 所 稲沢市役所 大会議室

3 出席委員 教育長 広沢 憲治
教育長職務代理者 江本 弘子
委員 伊藤 浩樹
委員 吉川 繁樹
委員 澤田 可奈子
欠席委員 委員 城 義政

4 説明のため出席した職員

教育部長	荻須 正偉		
教育部調整監	森 義孝		
教育部次長兼庶務課長	大口 伸	庶務課主幹	大崎 敬介
庶務課主幹	鈴木 達哉	庶務課主幹	犬飼 貴志
学校教育課長兼指導主事	松村 覚司	学校教育課統括主幹兼指導主事	伊藤 尚
学校教育課主幹兼指導主事兼指導主事	林 久人		
生涯学習課長	佐藤 雅之	生涯学習課主幹	松尾 俊明
生涯学習課主幹	恒川 浩		
スポーツ課長	江頭 弘幸	スポーツ課主幹	鈴木 元行
図書館長	塚本 ゆかり	図書館主幹	石川 路子
図書館主幹	水野 正己		
美術館長	長谷川 隆		
書記 庶務課	稲山 美佳		

5 教育長報告

6 前回会議録の承認

令和5年第7回定例会会議録

承認

7 教育委員会報告

8 報告

- ・稲沢市教育委員会後援名義使用承認について
- ・稲沢市図書館の臨時開館について

9 その他

- ・令和5年度全国学力・学習状況調査結果の分析について
- ・令和5年度中学校総合体育大会の結果について
- ・市制65周年 稲沢の文化財展～性海寺の文化財～開催について
- ・市制65周年開館40周年記念特別展「長谷川潔展 ー京都国立近代美術館コレクションー」及び市制65周年開館40周年記念「荻須高德展 画業の変遷を辿る ー新収蔵作品と主要展覧会出品作を中心にー」について

10 次回開催予定日時

－ 開 会 －

◎教育長

それでは、令和5年第8回教育委員会定例会を開会します。

◎教育長

初めに、教育長報告ということでお話をさせていただきます。

本日は、最近あったことから2点お話をさせていただきます。1点目は、広島平和体験活動を含む中学生の派遣事業についてです。3年に1回ということで行っていますが、広島平和記念式典に各中学校から2名ずつ中学生を派遣する。そして、帰ってきて、各学校でその体験の話をするという形で行っています。今日お話をしようと思いますのは、彼らが帰って来た時のこと、帰着式と呼んでいます。簡単なお帰りなさいという会を行います。その中で、行って来た子どもたちの中の代表が、こんな風でしたと非常に簡単ですが、あいさつと言いますか報告をしてくれました。大変しっかりした話をしてくれたと感心していたのですが、そのことをお伝えしようかなということ。そして、男子生徒だったのですが、その言葉の中に、小学生の言葉が印象に残ったという意味の話がありました。どんなことを言ったのだろうと思い、少し調べてみ

ましたら、平和への誓いということで、小学校6年生の子が、毎年式典の中で、発表と言いますか宣言のような感じで話をするということがあります。何が印象に残ったのか、詳しくは省略しますが、調べているうちに思ったことがもう一つありまして、昨年とどう違うのかな、毎年同じことを小学生は言っているのかなと、そんなことはないよなと思い、調べてみましたが、だいぶニュアンスが今年は違うということが分かりました。昨年は、原爆の関係の式典ですので、ひたすら原爆の話という感じの小学生の宣言、平和への誓いだったので、今年はそうではなくて、これからどうするか、未来を見る、未来へ向けてという、そんな話を中心でした。これは私の感想に過ぎませんが、私はそういう風に昨年のもので今年のものを比べて思ったわけです。当たり前と言え当たり前なのですが、もちろん原爆のことを語り継ぐということも必要なので、これはこれで良いわけですが、やはりこれから未来を担っていく子どもたちが未来のことを平和への誓いで触れるという大変良い感じの言葉であったため、その辺りに中学生の子どもたちも感動したのではないかと考えています。この次に、冊子を作ったりいろいろなことを過去にやっています。その辺りで別の機会にも、教育委員の皆さんにも、それから一般のかたにもいろいろ見ていただけるような、また学校での発表もありますので、そんなときには保護者のかたにも聞いていただけるような、そんな風に広がっていくのではないかと考えています。

2点目は、今日のその他の連絡事項にもありますが、今年度の全国学力・学習状況調査の結果が出ています。まだ詳しい分析を私自身として、きちんと整理できるほどまだ読み込んでいませんので、あまり言えませんが、一言でいうと稲沢の子どもたちはよくやっていると、私が言っただけではいけないかも知れませんが、そんな風に思った結果であったと感じています。もちろん、学力・学習状況調査の話は、点数だけのことではありません。点数競争をするための調査ではありませんので、例えば、ある教科のこういうところが小学校の子たちは弱いという結果が出てくるわけですが、これは子どもではなく、教育、学校がこれをどうやってやっていこうというように、そんな感覚で見なければいけないと思います。これから、各学校で分析を進めて、今後の対応を考えていくことになると思います。点数ということではなく、将来いろいろなところで生きていく子どもたちにとって、基本的な学習能力、学力は必要なことですので、その辺りは今後各学校にも呼び掛けて、活用していくように、そんなことをお話ししなければと思っています。それから、教育委員の皆さんはご存知かも知れませんが、学力・学習状況調査には、ただテスト、国語のテストという感じの

テストではなくて、状況調査といって、質問紙で、これこれこういうことについて、あなたはどうしていますか、これはまた後で話題になるかも知れませんが、この辺りの結果を見ていきますと稲沢市の子どもたちの実態、家庭だけでなく学校での生活を含めて、いろいろな面での今の子どもたちの姿が少し見えて来る感じがして、今一生懸命私も読んでいるところです。もし、機会があればお話をすることになるかも知れませんが、この辺りはなかなかすぐに正解をとということにはならないことが多いのですが、やはり子どもたちの実態をきちんと掴むことがスタートラインになります。そんな風に思っているところです。

本日の私からの報告は、以上とさせていただきます。

◎教育長

続きまして、3. 前回会議録の承認について、前回の会議録を順次お返ししますので、お目通しをいただき署名をお願いいたします。

◎教育長

次に、4. 教育委員会報告について、教育部長からお願いします。

(定例会事項1ページの資料に基づき、教育部長から報告)

◎教育長

ただいまの教育委員会報告で何かご質問等、お聞きになりたいことがありますらどうぞお願いします。

○吉川委員

私も8月1日に瀬戸市立にじの丘学園の視察に、策定委員のかたがたと一緒に行ってきました。ここでは、その時の質問も交えて感想を述べさせていただきます。5つの小学校と2つの中学校を一つにということで、どんな学校だろうと思っていましたが、第一印象は非常に素晴らしい、敷地面積が広くて、私が見たことのないようなスペース、教室の広さと廊下の広さがほぼ一緒ぐらいあって、通常の3倍くらいの廊下の広さ、階段の広さ、これは私も見たことがありません。稲沢にも新設校が2つありますが、はるかにオープンな、そして教室と廊下の境は開け閉めができますから、2倍のスペースで活動することができるということ。そんなようなことで、こんな学校だったら、子どもたちも保護者も来たくなるだろうなと思いました。それが果たして可能かということも含めてですが、敷地面積は約2万3,000平方メートルで、児童生徒数は1,300人でしたが、私が一番印象に残ったのは、7つの学校が相当広い面積で一つの学校になったのかと思ったら、半径3キロメートルだということで、裏返せば相当学校が密集していたのかなということをもまず思いました。そして、質問の

中にもありましたが、通学時間が徒歩の生徒で40分、それから約半数はスクールバスではなく基幹バスで約40分で通えるということを知り、一番遠くでも40分というのは妥当なところかなと思いました。ただ一つ疑問に思ったのは、基幹バスで通っている児童生徒はバス代が保護者負担だと聞いて、えっと思いました。当初はスクールバスを走らせることも予定していたが、途中で頓挫したと聞きまして、そんなことがあるのかと思いました。頓挫したと聞いて憤慨した保護者がかなり通学区域から外に出られたということも聞いています。いろいろな問題があっただけでここに至ったのだらうと思いますが、いわば子どもたちが通いたくなるような学校、そんな学校になればいいかなと思います。子どもたちが毎日通うのですから、通学時間は40分、それ以上ということについては、策定委員会でいろいろと検討していただけたらと思います。

◎教育長

ほかにございますか。

◎教育長

ないようですので、続きまして、5. 報告事項に移ります。「稲沢市教育委員会後援名義使用承認について」を庶務課から説明をお願いします。

●庶務課長

定例会事項の2ページをお願いします。3ページにかけまして「稲沢市教育委員会後援名義使用承認一覧表」を掲載しています。ここに記載のとおり、6件の後援名義使用承認申請につきまして、事務取扱要領に基づき、承認させていただきましたことをご報告いたします。

◎教育長

続きまして、「稲沢市図書館の臨時開館について」を図書館から説明をお願いします。

●図書館長

定例会事項の4ページをお願いいたします。

稲沢市図書館の臨時開館について、ご報告します。このたび、令和5年11月24日金曜日が、稲沢市における「県民の日学校ホリデー」として学校休業日に定められたことに伴い、学校ホリデー当日に、子どもが自由に、愛知の自然、歴史、風土、文化、産業に関する資料を利用できるよう、図書館を開館する必要があると判断し、定期休館日を取りやめ、臨時開館するものです。

開館する日は、学校休業日である令和5年11月24日金曜日、開館する図書館は、中央図書館、祖父江の森図書館、平和町図書館の3館です。なお、あいちウィーク期間中の開館日は、各図書館において、愛知に関わる資料に触れる

ことができるよう、テーマ展示、テーブル展示などにより、関係資料を紹介する予定です。

図書館からは以上です。

◎教育長

何かご質問等、お聞きになりたいことがありましたらどうぞお願いします。

◎教育長

ないようですので、次に進みたいと思います。続きまして、6. その他、何かありますか。

●学校教育課長

学校教育課から2点お願いいたします。

はじめに、「令和5年度全国学力・学習状況調査結果の分析について」を報告させていただきます。本年度は、4月18日火曜日に小学校6年生・中学校3年生を対象に、国語、算数・数学、英語が実施され、7月31日にその結果が文部科学省から公表されました。

稲沢市については、小学校では国語の正答率は県平均を2ポイント、算数の平均正答率は県平均を1ポイント程度上回る結果で、国語、算数ともに、ほぼ全国平均並みの結果でした。中学校では、国語の正答率は県平均を2ポイント、数学の平均正答率は県平均を5ポイント、英語の平均正答率は県平均を2ポイント上回り、いずれの教科も全国平均を上回る結果です。中でも数学と英語におきましては、全国の都道府県の中でも上位に位置しているととらえています。

全国学力・学習状況調査は、学力の側面の一部のみの調査ではありますが、今後、教育委員会に置いて市内小中学校の結果を分析し、各学校に通知してまいります。各学校におきましても、それぞれの学校の児童生徒の結果を分析して、指導の工夫改善を図ってまいります。詳細につきましては、担当から報告させていただきます。

●学校教育課主幹

お手元の「令和5年度全国学力・学習状況調査結果の分析（稲沢市）」をご覧ください。

1の「調査の内容」についてお願いします。令和4年度と調査の内容は同じで、(1)、(2)を一体的に問う形で出題されました。本年度は、4年ぶりに2回目の中学英語が実施されました。

次に2の「教科に関する調査の結果」です。まず、小学校です。国語では、「漢字を文の中で正しく使うこと」、「文章を読んで理解したことについて、自分の考えをまとめること」はよくできていました。しかし、「相手と自分との関

係を意識しながら、相手や場面に応じて、敬語を適切に使うこと」や「図示などにより語句と語句の関係を表すことを通して、考えをより明確なものにしたり、思考をまとめたりすること」に課題がみられました。算数では、「加法と乗法の混合した整数の計算をしたり、分配法則を用いたりすること」、「示された日常生活の場面を解釈し、小数の加法や乗法を用いて、求め方と答えを式や言葉を用いて記述し、その結果から条件に当てはまるかどうか判断すること」はよくできていました。しかし、「台形の意味や性質について理解すること」、「高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係をもとに面積の大小を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述すること」に課題がみられました。

次は中学校です。国語では、「読み手の立場に立って、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えること」、「古典と現代文を対応させて、内容を捉えること」、「文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えること」はよくできていました。しかし、「文章の中心的部分を捉え、要旨を把握すること」、「文脈に即して漢字を正しく書くこと」に課題がみられました。数学では、「四分位範囲の意味を理解すること」、「事象における数量の関係を見だし、問題解決の方法について説明すること」、「空間における平面が同一直線上にない3点で決定されることを理解すること」はよくできていました。しかし、「反比例の意味を理解すること」、「問題場面における考察の対象を明確にとらえること」に課題がみられました。英語では、「語彙や表現を理解し、情報を正確に聞き取ること」、「『相手の行動を促す』という言語の働きを理解し、依頼する表現を正確に書くこと」はよくできている。しかし、「文章の内容を把握し、書き手の意見に対する自分の考えとその理由を書くこと」、「日常的な話題について、事実や自分の考えなどを整理し、一貫性のある文章を書くこと」に課題がみられました。

次に3の「質問紙より」です。全国よりも高い傾向がみられた質問項目として、小学校では、

- ・今、住んでいる地域の行事に参加している
- ・学校の授業時間以外に、普段（月～金）、読書をしている
- ・新聞を読んでいる
- ・昼休みや放課後、休みの日に、学校図書室や地域の図書館に行っている

中学校では、

- ・自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表している
- ・新聞を読んでいる

・話し合い活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりすることができている

という項目が挙げられます。

また、全国より低い傾向がみられた項目として、小学校では、

- ・家で、自分で計画を立てて勉強をしている
- ・自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う

また、中学校では、

- ・地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思う
- ・地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う

という項目が挙げられます。

最後に4の「質問紙と稲沢市の正答率からの傾向」についてです。小・中学校ともに、次のように答えた児童生徒は、全ての教科で平均正答率が高いという傾向がみられました。

- ・勉強が好きである。勉強は大切である。学習したことは、将来社会に出たときに役に立つと思う
- ・授業では課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる
- ・朝食を毎日食べている
- ・毎日、同じくらいの時刻に寝ている
- ・自分にはよいところがある
- ・人の役に立つ人間になりたいと思う

一方で、平日、PC・タブレットなどのICT機器を使った勉強時間が、小学校は2時間以上、中学校は1時間以上になると平均正答率が低くなる傾向がみられました。

以上が結果の分析です。今後、各学校へ稲沢市全体の傾向を伝えるとともに、各学校でも自校の結果を分析し、学校の実態に応じた指導改善をするよう指示する予定です。これからも指導の工夫改善を図り、児童生徒の学力向上に努めてまいります。

以上でございます。

●学校教育課長

続きまして、2点目の「令和5年度中学校総合体育大会結果」について、東海大会までの途中経過を報告させていただきます。資料をご覧ください。

稲沢支所大会の結果につきましては、資料1としてまとめさせていただきました。用紙の2枚目から4枚目までになりますので、後ほどご覧おきください。熱中症や天候の心配もありましたが、大会を無事に終えることができました。

西尾張大会の結果につきましては、資料2として5枚目以降にまとめさせていただきます。こちらにつきましても、後ほどご覧おきください。

1枚目にお戻りください。県大会、東海大会、全国大会につきましては、1枚目の(3)、(4)、(5)にまとめさせていただきます。県大会の団体の部についてですが、ソフトボール女子で治郎丸中学校、稲沢中学校、軟式野球で稲沢中学校、ソフトテニス男子で治郎丸中学校、バスケットボール女子で明治中学校、バドミントン女子で大里東中学校、水泳男子で稲沢西中学校が出場しました。その中でも、ソフトボール女子に出場した治郎丸中学校が優勝し、東海大会においても4位となり、全国大会出場を勝ち取りました。

また、県大会の個人の部には、水泳、陸上、ソフトテニス、卓球、柔道、剣道、バドミントン、体操の各種目に出場し、多くの選手が活躍しました。そして、右側に星印がついている選手が東海大会に出場しております。その中で、裏面の(4)、(5)に名前だけ書いてありますが、陸上競技男子2年100mで祖父江中学校2年の生徒が東海大会においても優勝しました。また、陸上競技女子3年100mで治郎丸中学校3年生の生徒は東海大会で2位となりました。2名とも全国大会への出場を決めております。

なお、全国大会は、ソフトボールが8月18日から香川県丸亀市で、陸上競技は8月22日から愛媛県松山市で開催されます。選手の活躍を期待しております。その他の結果につきましては、結果一覧をご覧おきいただけたらと思います。

以上で、中学校総合体育大会の結果報告とさせていただきます。

●生涯学習課長

お手元に配付させていただいています「稲沢の文化財展」をご覧ください。このチラシにありますとおり、9月8日金曜日から9月18日月曜日の祝日まで、11日は休館日となりますが、市制65周年記念としまして、「稲沢の文化財展－性海寺の文化財－」を荻須記念美術館の一般展示室Iで開催します。チラシの真ん中より少し下の左側に掲載しています灌頂道具と言いますが、密教の儀式で使用しますこの道具が令和3年度に愛知県指定文化財に指定されましたので、こちらをメインに展示します。そして、右側に掲載しています木造四天王立像、写真には1点しか掲載していませんが、4点を展示し、性海寺の文化財展ということで文化財19点を、荻須記念美術館で展示しますので、ご高覧いただければ幸いです。

もう3点お願いします。祖父江の生涯学習センターで稲沢市の明治地区出身ではございますが、愛知県で初めて大関になりました綾瀬川三左衛門と大相撲資料展というテーマでソブエルの郷土資料展示室で展示しています。そして、

その横で、漫画家の水木しげるが生誕100周年ということで、いろいろなところで展示会を開催していますが、祖父江におきましても『水木しげる「貸本劇画」プチ展』として2つ同時に開催しています。そして、中央図書館におきまして、夏に行われます無形文化財の説明展示も行っていますので、併せてご高覧いただければ幸いです。

生涯学習課からは以上です。

●美術館長

美術館からは、「特別展 長谷川潔展」及び「荻須高德展」についてご説明申し上げます。

チラシ等が現在印刷中のため、口頭報告とさせていただきます。

美術館では、今年度は稲沢市制65周年、荻須記念美術館開館40周年という記念すべき節目の年度のため、特別展として「長谷川潔展-京都国立近代美術館コレクション-」、常設展につきましても周年事業として「荻須高德展 画業の変遷を辿る -新収蔵作品と主要展覧会出品作品を中心に-」の2つの展覧会を同時開催いたします。期間は10月28日土曜日から12月10日日曜日までです。

当館の顕彰画家である荻須高德と同時期にパリに滞在し、荻須画伯とも交流があった版画家長谷川潔の作品を、京都国立近代美術館コレクションから約70点をお借りして展示いたします。長谷川はその功績により1966年にフランス文化勲章を授与されております。「荻須高德展」は、荻須画伯の画業の節目となる3つの重要な展覧会に焦点を当て、時代ごとの画風の変遷を辿ります。当館が収蔵する展覧会出品作を中心に、今年度新規に購入いたしました《ポスターの壁》、《鍵屋》の2作品を当館の所蔵品として初お披露目いたします。会期中には、講演会をはじめ、各種の講座等を行う予定です。

なお、開会式を10月27日金曜日、午後2時から開催する予定です。委員の皆様には、後日ご案内をさせていただきますので、どうぞよろしく願いいたします。

美術館からは以上です。

◎教育長

ご質問等、お聞きになりたいことがありましたらどうぞお願いします。

○吉川委員

学校教育課の学力・学習状況調査について、2点お聞きします。1点目は、最後の気になる傾向ということで、ICT機器を使った勉強時間が、小学校は2時間以上、中学校は1時間以上になると平均正答率が低くなるということでした。これはどのようにして調べて分かったことなのか、またそれに対してど

う考えてみえるのかということが1点。2点目は、質問紙調査の中で、小学生も中学生も、全国に比べて高い、低い傾向について触れられていますが、私はコロナ前の状況調査と今年行われた児童生徒の調査については、コロナの影響によって変化があるのではないかと思います。コロナ前とコロナ中、そしてコロナ後、いわゆるコロナ禍の中の子どもたちのデータの比較というのがすごく大事ではないかと思います、その辺りはどう考えてみえたのかお聞かせください。

●学校教育課主幹

1点目の気になる傾向ということで、ICT機器を使った勉強時間につきましては、私の言葉足らずで、家庭においてということになります。小学校では2時間以上ICT機器を使用している子の割合は全体の6パーセントとごく少数ではありますが、国語、算数の正答率が全く使っていない子よりも悪化するという結果になっています。同様に、中学校では1時間以上使用すると、国数英の正答率が、全く使っていない子よりも悪化する結果になっています。こちらは、クロス集計で全国学力・学習状況調査のとりまとめのところからデータが送られてきたものです。

このことは、必ずしもICT機器を使うと成績が悪くというわけではなく、問題なのは、活用方法を考えて使うべきだということを示唆しているのではないかと思います。別の設問では、「学習の中でICT機器を使うのは勉強の役に立つ」と考えている児童ほど、成績が上がるという結果が出ています。また、「インターネットを活用して学ぶ時間も含めて、家庭での学習時間が長いほど、正答率が上がる」という結果も出ています。このようにICT機器の活用が勉強の役に立つと考えている子たちが、必要な場面で上手に使いこなすことで、家庭学習の成果を上げていることがうかがえます。どうしても、長時間使っていると集中力が切れてくることも考えられますので、家庭では、ずっとタブレットPCに向かい合うのではなく、時間を限定して効果的な活用を学校で指導してもらえるように働きかけていきたいと思っています。

2点目の質問で、コロナ前とコロナ後で子どもたちの傾向に変化はあるかということですが、実はここに挙げられている項目は、コロナ以前でも同様の結果が出ていて、今回の調査を受けてコロナ前とコロナ後の明らかな変化がなかなか読み取れない状況でした。ただ、明らかに違う点は、タブレットPCを使うようになったということで、こちらの方を学校でも使って、非常に役に立っている、自分の意見を述べるにもタブレットPCを活用しているという項目にも高い正答率を上げているということで、その辺りの変化しか見受けられない

状況です。

○吉川委員

ICT機器については、必要な場面で上手く使って、効果的な授業を行っていくことが大切だということが分かりました。コロナ前とコロナ後で変化が見られなかったということですが、明らかに数字的には不登校の数が増えてきている、そういうことを考えればどこかに自己肯定感が実際に持てなくなっている子どもたちが増えているのではないかと。ここで言うと、地域や社会をよくするために何かしてみたいと思うという項目がありますが、この点について以前の調査とほとんど変わっていないのかどうか。やはり、人との触れ合いがなかったということ、体験がなかったということ、子どもとのコミュニケーションも少なかったということで、何らかの変化があったのではないかと私は想定するのですが。そんなようなことを考えれば、今後学校現場でどんなことに努めていったら良いかということにつながっていくのではないかと考えたものですから、質問させていただきました。

○江本委員

夏季大会の結果について報告がありましたが、中学生はよく頑張っているなと思います。今日も水泳の大会で、頑張って泳いでいるだろうなと思いますが、部活動のあり方について、いろいろと話し合いがあったり、国からの方針が出ていたりで少し先を見ていかなければいけないかなと思います。今年、昨年も確か合同チームがあったように思いますが、そういう意味で工夫をされている、あるいは参加について工夫をされている事例があったのか、あるいは試合が1校では難しいが合同で行ったとか、そういう具体的な活動について何かあれば教えてください。もう1点、今年はコロナ以前とほぼ変わらない大会の内容で、無事進んでいると思いますが、来年に向けてこの大会が同じように持たれるのか、あるいは部活動の変更に向けて少し大会自体が変わるのか、教えてください。

●学校教育課長

合同チームにつきましては、サッカーにおいて2つの中学校が1つになってチームがつけられました。中学校の組み合わせについては今申し上げることができませんが、大会に合同チームが2チーム出場したと報告を受けています。

次に、来年度に向けての大会のあり方等につきましては、陸上大会で、今年度までは稲沢支所大会があり、その次に西尾張大会があってということで例年通り実施されましたが、来年度からは稲沢支所大会は行わない方向で検討しています。そのほかの種目についても、クラブチームが大会に参加できる種目が

少しずつ増えてきています。令和5年度は、県大会でバレーボール、ハンドボール、柔道、相撲がクラブチームからの出場が認められました。来年度以降、クラブチームが参加可能な種目が更に増えていくことも考えられます。愛知県が正式にどうするという話は聞いていませんので、また情報が入りましたら報告させていただきたいと思います。

◎教育長

ほかにございますか。

◎教育長

ないようですので、続きまして、次回開催予定日時について、教育部長お願いします。

(教育部長から説明)

◎教育長

次回開催予定日時でございました。

◎教育長

これをもちまして、第8回教育委員会定例会を終わります。お疲れ様でございました。

次回開催予定日

令和5年9月11日(月) 午後1時30分 稲沢市役所 議員総会室

－ 閉 会 －

令和5年9月11日

教 育 長

職務代理者

委 員

委 員

委 員
委 員
書 記